

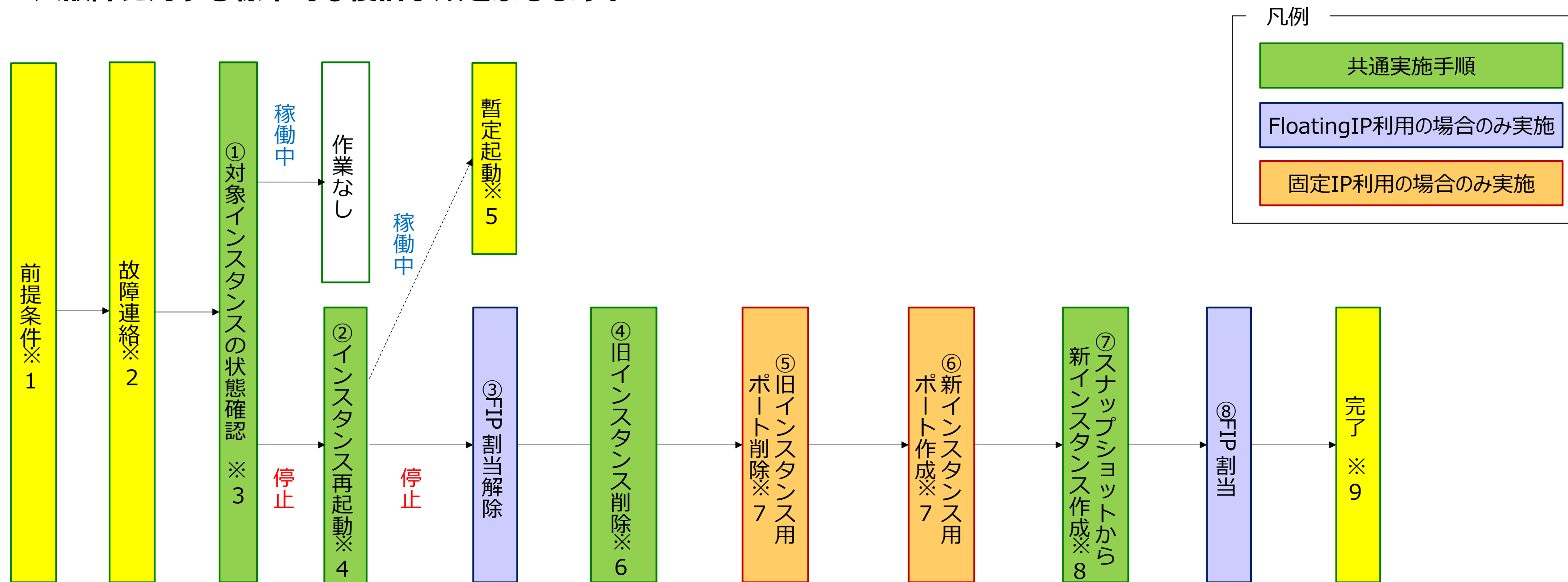
Compute D物理サーバ故障時の復旧手順 (標準フロー)



2026年6月5日
NTTドコモビジネス株式会社

Compute D物理サーバ故障時の復旧手順（標準フロー）

物理サーバ故障に対する標準的な復旧手順を示します。



- ※1 復旧用に旧インスタンスのスナップショットを事前に取得している必要があります。
- ※2 最初の故障連絡では対象インスタンスの情報はありません。対象インスタンス情報は別途通知します。
- ※3 「稼働中」と表示されている場合でも故障している可能性があります。対象インスタンスにSSHやPingなどの応答があるか併せてご確認ください。
- ※4 何度か試行すると成功する場合があります。
- ※5 故障した物理サーバ上で利用し続けるのは別故障のリスクがあるため、別物理サーバにインスタンス再作成することをお勧めします。
- ※6 削除できない場合もあります。その場合、後続の作業を進めるためには空きのインスタンスリソースが必要となります。
- ※7 同一IPで復旧させる場合、ポート再作成する必要があります。故障発生時のポートを継続利用すると、物理サーバ復旧時に不具合が発生する可能性があるため。
- ※8 一時ディスクは復旧されません。別途ユーザ側で取得したバックアップからの復旧が必要です。
- ※9 インスタンス起動後にお客さま環境に応じて冗長設定やAP設定など必要な作業をする必要があります。

1.対象インスタンスの状態確認

物理サーバ故障の連絡を受け取りましたら、お客さま環境のインスタンスの状態を確認してください。
初報では影響対象のインスタンス情報はありませんが、続報で影響対象のインスタンス情報を提示します。

■ 作業詳細

(1)インスタンスのステータス確認をする

- ①Compute Dのコンソールへアクセスし、[コンピューート]→[インスタンス]をクリックして
各インスタンスのステータスを確認する

➤ 「稼働中」の場合

「稼働中」と表示されている場合でも故障している可能性があります。
対象インスタンスにSSHやPingなどの応答があるか併せてご確認ください。
応答がある場合は、復旧作業は不要です。
応答がない場合は下記の「電源停止」の場合の手順に進んでください。

➤ 「電源停止」の場合

「2.インスタンスの再起動」の手順に進んでください

インスタンス

インスタンス名 =▼

hukkyuu

フィルター

インスタンスの起動

🗑 インスタンスの削除

その他のアクション ▼

1 件表示

☐	Instance Name	Image Name	IP Address	Flavor	Key Pair	① Status	Availability Zone	Task	Power State	Age	Actions
☐	hukkyuu_test	CentOS7	192.168.110.214	standard1.tiny	-	電源停止	AZ1	なし	シャットダウン済み	49 分	インスタンスの起動 ▼

1 件表示

2.インスタンスの再起動

インスタンスの起動を実施し、インスタンスが起動するか確認してください。

■ 作業詳細

(1)インスタンスの起動を実施する

- ①インスタンスの管理画面から[インスタンスの起動]をクリックする

インスタンス

インスタンス名 =▼ hukkyuu

フィルター

 インスタンスの起動

 インスタンスの削除

その他のアクション▼

1 件表示

☐	Instance Name	Image Name	IP Address	Flavor	Key Pair	Status	Availability Zone	Task	Power State	Age	Actions
☐	hukkyuu_test	CentOS7	192.168.110.214	standard1.tiny	-	電源停止	AZ1	なし	シャットダウン済み	49 分	インスタンスの起動▼

1 件表示

2.インスタンスの再起動

インスタンスの状態(起動or停止)を確認してください。

■ 作業詳細

(2)インスタンスのステータスが「稼働中」か「電源停止」かの確認をする

①各インスタンスのステータスを確認する

➤ 「稼働中」の場合

復旧作業は不要ですが、故障した物理サーバ上で利用し続けるのは別故障のリスクがあるため、別物理サーバにインスタンス再作成することをお勧めします

➤ 「電源停止」の場合

▶ 復旧対象のインスタンスがFIP利用ありの場合

「3.FIP割り当て解除」の手順に進んでください

▶ 復旧対象のインスタンスがFIP利用なしの場合

「4.旧インスタンスの削除」の手順に進んでください

インスタンス

1件表示

インスタンス名 =▼ hukkyuu

フィルター

🔌 インスタンスの起動

🗑 インスタンスの削除

その他のアクション ▼

☐	Instance Name	Image Name	IP Address	Flavor	Key Pair	Status	Availability Zone	Task	Power State	Age	Actions
☐	hukkyuu_test	CentOS7	192.168.110.214	standard1.tiny	-	電源停止	AZ1	なし	シャットダウン済み	49 分	インスタンスの起動 ▼

1件表示

3.FIPの割り当て解除

Floating IP(以下、FIP)の割り当て解除を実施してください。

■ 作業詳細

(1)FIPの割り当て解除を下記で実施する ※1

①インスタンスの管理画面にて対象のインスタンスから[Floating IPの割り当て解除]を選択し、実行する
Floating IPの「解放」をすると同一のグローバルIPを利用できなくなります。必ず「割り当て解除」を実施してください。

インスタンス

インスタンス名 =▼

フィルター

インスタンスの起動

インスタンスの削除

その他のアクション ▼

1 件表示

☐	Instance Name	Image Name	IP Address	Flavor	Key Pair	Status	Availability Zone	Task	Power State	Age	Actions
☐	hukkyuu_test	CentOS7	front_network_02 192.168.1.1. test 192.168.110.215	standard1.tiny	-	稼働中	AZ1	なし	実行中	1, 55 分	Floating IP の割り当て解除 インターフェースの接続 スナップショットの作成

1 件表示

②「4.旧インスタンスの削除」の手順へ進んでください

※1 FIPの管理画面からも割り当て解除を実施可能

4.旧インスタンスの削除

旧インスタンスの削除を実施してください。

■ 作業詳細

(1)旧インスタンスの削除を実施する

- ①インスタンスの管理画面から対象のインスタンスを選択し[インスタンスの削除]を実行する
 - 固定IP利用ありの場合
 - 「5.旧インスタンス用ポート削除」の手順に進んでください
 - 固定IP利用なしの場合
 - 「7.スナップショットから新インスタンス作成」手順に進んでください

固定IP利用とは、復旧後も旧インスタンスのポートのIPアドレスと同じIPアドレスを使用することを指します

インスタンス

インスタンス名 =▼ hukkyuu

フィルター

インスタンスの起動

インスタンスの削除

その他のアクション▼

1 件表示

☐	Instance Name	Image Name	IP Address	Flavor	Key Pair	Status	Availability Zone	Task	Power State	Age	Actions
☐	hukkyuu_test	CentOS7	192.168.110.214	standard1.tiny	-	電源停止	AZ1	なし	シャットダウン済み	4 時間, 1 分	インスタンスの起動

1 件表示

スナップショットの作成

Floating IP の割り当て

インターフェースの接続

インターフェースの切り離し

インスタンスの編集

メタデータの更新

ポートのセキュリティグループの編集

インスタンスの退避

インスタンスのリサイズ

インスタンスのロック

インスタンスのハードリブート

インスタンスの再作成

インスタンスの削除

5.旧インスタンス用ポート削除

旧インスタンスに接続されているポートを削除してください。

■ 作業詳細

(1)ポートを削除する

①ネットワークの管理画面から対象ポートが紐づいているネットワークを選択する

ネットワーク

名前=▼

フィルター

+ ネットワークの作成 (クォータを超過しました)

🗑 ネットワークの削除

1 件表示

☐	Name	Subnets Associated	Shared	External	Status	Admin State	Availability Zones	Actions
☐	test	test 192.168.110.0/24	いいえ	いいえ	稼働中	UP	-	ネットワークの編集 ▼

1 件表示

1

5.旧インスタンス用ポート削除

- ②[ポート]をクリックする
- ③対象のポートを選択し[ポートの削除]を実施

test ② ネットワークの編集 ▼

概要 サブネット **ポート**

ポート

1 件表示

☐	Name	Fixed IPs	MAC Address	Attached Device	Status	Admin State	Actions
☐	test_port3	• 192.168.110.180	fa:16:3e:98:48:4f	未接続	停止中	UP	ポートの編集 ▼ ③ ポートの削除

1 件表示

- ④「6.新インスタンス用ポート作成」の手順に進んでください

6.新インスタンス用ポート作成

新インスタンス用のポートを作成してください。

■ 作業詳細

(1)新インスタンス用ポートの作成を実施する ※複数ポートを使用する場合は必要分実施する

①[ポートの作成]をクリックする

6.新インスタンス用ポート作成

- ②ポートの作成画面にてポート名を入力する
- ③[Fixed IPアドレス]を選択する

ポートの作成

情報

セキュリティグループ

②

名前

test_port3

☒ 管理状態有効 ⓘ

デバイス ID ⓘ

デバイス所有者 ⓘ

IP アドレスまたはサブネットの指定 ⓘ

指定なし

指定なし

サブネット

③

Fixed IP アドレス

☒ ポートセキュリティ ⓘ

仮想 NIC の種別 ⓘ

標準

説明:

ネットワークのポートを作成できます。接続するデバイス ID を指定すると、指定したデバイスが作成されたポートに接続されます。

取り消し

作成

6.新インスタンス用ポート作成

- ④ Fixed IPアドレスに固定IPアドレスを入力する
- ⑤ セキュリティーグループをポートごとに設定するかしないかを確認する ※1
 - セキュリティーグループをポートごとに設定する場合
「6-1.新インスタンス用ポート作成」の手順に進んでください
 - セキュリティーグループをポートごとに設定しない場合
- ⑥ 作成ボタンをクリックする

ポートの作成

情報 セキュリティーグループ ⑤

名前
test_port3

☒ 管理状態有効 ⓘ

デバイス ID ⓘ

デバイス所有者 ⓘ

IP アドレスまたはサブネットの指定 ⓘ
Fixed IP アドレス

④ Fixed IP アドレス ⓘ
192.168.110.180

MAC アドレス ⓘ

☒ ポートセキュリティ ⓘ

仮想 NIC の種別 ⓘ
標準

説明:
ネットワークのポートを作成できます。接続するデバイス ID を指定すると、指定したデバイスが作成されたポートに接続されます。

⑥ 作成

取り消し

- ⑦ 「6-2.新インスタンス用ポート作成」手順に進んでください

※1 allowed-address-pairs を利用している場合は設定する必要があります

Compute-D AP設計支援マニュアル_ネットワーク設計 「allowed-address-pairsとは何か。どんな時に必要か。」を参照

6-1.新インスタンス用ポート作成

新インスタンス用のポートを作成してください。

■ 作業詳細

(1)新インスタンス用ポートの作成を実施する

- ①セキュリティグループタブをクリックする
- ②該当のセキュリティグループを追加する場合は「+」をクリックする
- ③該当のセキュリティグループを削除する場合は「-」をクリックする
- ④作成ボタンをクリックする

ポートの作成

情報 セキュリティグループ

利用可能なセキュリティグループのリストから、このポートのセキュリティグループを追加したり削除したりできます。"default" セキュリティグループがデフォルトで関連付けられていますが、ポートから "default" セキュリティグループから削除することもできます。

すべてのセキュリティグループ フィルター

ping-test	+
test-icmp	+
ssh	+
icmp-all	+
iperf-mec-direct	+
iperf-sp-mode	+
test-http-openstack	+

ポートのセキュリティグループ フィルター

default	-
---------	---

取り消し 作成

- ⑤ 「6-2.新インスタンス用ポート作成」 手順に進んでください

6-2.新インスタンス用ポート作成

新インスタンス用のポートを作成してください。

■ 作業詳細

(1)作成したポートを確認する

①作成したポート名と固定IPが合っていることを確認する。

test

ネットワークの編集

概要サブネットポート

ポート

ポート

1件表示

Name

Fixed IPs

• 192.168.110.180

MAC Address

fa:16:3e:96:ac:5c

Attached Device

未接続

Status

停止中

Admin State

UP

Actions

ポートの編集

1件表示

②「7.スナップショットから新インスタンス作成」手順に進んでください

7.スナップショットから新インスタンス作成

スナップショットから新インスタンスを作成してください。

■ 作業詳細

(1)スナップショットから新インスタンスを作成する

①イメージの管理画面にて該当のスナップショットから[起動]をクリックする ※1

イメージ

Q

✕

+イメージの作成

🗑 イメージの削除

1件表示

名前 ^	種別	ステータス	公開範囲	保護	ディスク形式	サイズ
☐ > hukkyuu-snap_test	スナップショット	稼働中	プライベート	いいえ	QCOW2	872.38 MB

1件表示

1

起動

※1 インスタンスの管理画面のインスタンス起動からも実施可能。[ファーストステップガイド](#)を参照。

7.スナップショットから新インスタンス作成

- ②インスタンスの起動詳細画面にてインスタンス名を入力する
- ③インスタンスの起動詳細画面にてインスタンス数を入力する

インスタンスの起動

詳細

ソース

フレーバー *

ネットワーク *

ネットワークのポート

セキュリティグループ

キーペア

設定

サーバーグループ

スケジューラーヒント

メタデータ

インスタンスの最初のホスト名、インスタンスのデプロイ先のアベイラビリティゾーン、インスタンス数を指定してください。同じ設定で複数のインスタンスを作成する場合はインスタンス数を増やしてください。

Project Name

hsd01-01-Compute-D-sorisa-ope

インスタンス名 *

hukkyuu_test

説明

アベイラビリティゾーン

AZ1

インスタンス数 *

1

合計インスタンス
(15 Max)

20%

2 現在使用中

1 追加済み

12 残り

※初期状態は「1」となる

✕ 取り消し

< 戻る

次へ >

インスタンスの起動

7.スナップショットから新インスタンス作成

④インスタンスの起動ソース画面にて「ブートソースを選択してください」の[インスタンススナップショット]を選択する

インスタンスの起動

詳細

ソース

フレーバー

ネットワーク*

ネットワークのポート

セキュリティグループ

キーペア

設定

サーバーグループ

スケジューラーヒント

メタデータ

インスタンスのソースは、インスタンスの作成に使用するテンプレートです。ソースとして、イメージ、インスタンススナップショット (イメージスナップショット)、ボリューム、ボリュームスナップショット (有効になっている場合) が選択できます。新しいボリュームを作成して、永続ストレージを使うように選択することもできます。

ブートソースを選択してください

新規ボリュームの作成

はい いいえ

イメージ

インスタンススナップショット

ボリューム

ボリュームスナップショット

種別 公開範囲

0 件表示

利用可能 8 1 件選択してください。

フィルター

フィルターの指定またはフルテキスト検索を行うには、ここをクリックしてください。

8 件表示

名前	更新時刻	サイズ	種別	公開範囲
hukkyuu-snap_test	5/14/25 2:55 AM	872.38 MB	QCOW2	プライベート

7.スナップショットから新インスタンス作成

⑤ソース画面にて該当のスナップショットをクリックする

インスタンスの起動

詳細

ソース

フレーバー *

ネットワーク *

ネットワークのポート

セキュリティグループ

キーペア

設定

サーバーグループ

スケジューラーヒント

メタデータ

インスタンスのソースは、インスタンスの作成に使用するテンプレートです。ソースとして、イメージ、インスタンススナップショット (イメージスナップショット)、ボリューム、ボリュームスナップショット (有効になっている場合) が選択できます。新しいボリュームを作成して、永続ストレージを使うように選択することもできます。

ブートソースを選択してください

新規ボリュームの作成

はい いいえ

インスタンススナップショット

割り当て済み

0 件表示

名前	更新時刻	サイズ	種別	公開範囲
以下の利用可能なアイテムから 1 つ選択してください。				

0 件表示

▼ 利用可能 8 1 つ選択してください。

Q フィルターの指定またはフルテキスト検索を行うには、ここをクリックしてください。

8 件表示

名前	更新時刻	サイズ	種別	公開範囲
hukkyuu-snap_test	5/14/25 2:55 AM	872.38 MB	QCOW2	プライベート

7.スナップショットから新インスタンス作成

⑥ソース画面にて「割り当て済み」に該当のスナップショットが表示されていることを確認する

インスタンスの起動

詳細

ソース

フレーバー *

ネットワーク *

ネットワークのポート

セキュリティグループ

キーペア

設定

インスタンスのソースは、インスタンスの作成に使用するテンプレートです。ソースとして、イメージ、インスタンススナップショット (イメージスナップショット)、ボリューム、ボリュームスナップショット (有効になっている場合) が選択できます。新しいボリュームを作成して、永続ストレージを使うように選択することもできます。

ブートソースを選択してください

新規ボリュームの作成

インスタンススナップショット

はい

いいえ

割り当て済み

1 件表示

名前	更新時刻	サイズ	種別	公開範囲
➤ hukkyuu-snap_test	5/14/25 2:55 AM	872.38 MB	QCOW2	プライベート

1 件表示

⑥

7.スナップショットから新インスタンス作成

⑦フレーバー画面にて該当のフレーバーをクリックする

インスタンスの起動

詳細

ソース

フレーバー*

ネットワーク*

ネットワークのポート

セキュリティグループ

キーペア

設定

サーバーグループ

スケジューラーヒント

メタデータ

インスタンスのコンピュータ、メモリー、ストレージリソースは、フレーバーとして定義されています。

割り当て済み

名前

仮想 CPU

メモリー

合計ディスク

ルートディスク

一時ディスク

パブリック

以下の利用可能なアイテムから 1 つ選択してください。

▼ 利用可能 16

1 つ選択してください。

フィルターの指定またはフルテキスト検索を行うには、ここをクリックしてください。

名前	仮想 CPU	メモリー	合計ディスク	ルートディスク	一時ディスク	パブリック	
standard1.tiny	1	3.88 GB	10 GB	10 GB	0 GB	はい	↑
LSVM1.tiny	1	3.88 GB	350 GB	50 GB	300 GB	はい	↑
standard1.tiny.sriov	1	3.88 GB	10 GB	10 GB	0 GB	はい	↑
LSVM1.tiny.sriov	1	3.88 GB	350 GB	50 GB	300 GB	はい	↑
standard1.small	2	7.75 GB	30 GB	10 GB	20 GB	はい	↑

7.スナップショットから新インスタンス作成

⑧フレーバー画面にて「割り当て済み」に該当のフレーバーが表示されていることを確認する

インスタンスの起動

詳細

ソース

フレーバー

ネットワーク*

インスタンスのコンピュート、メモリー、ストレージリソースは、フレーバーとして定義されています。

割り当て済み

	名前	仮想CPU	メモリー	合計ディスク	ルートディスク	一時ディスク	パブリック
>	standard1.tiny	1	3.88 GB	10 GB	10 GB	0 GB	はい

7.スナップショットから新インスタンス作成

⑨ネットワーク画面にて該当のネットワークをクリックする

インスタンスの起動

詳細

ソース

フレーバー

ネットワーク*

ネットワークのポート

セキュリティグループ

キーペア

設定

サーバーグループ

スケジューラーヒント

メタデータ

ネットワークはクラウド内のインスタンス用の通信経路を提供します。

▼ 割り当て済み

以下のリストからネットワークを選択してください。

ネットワーク	割り当てサブネット	共有	管理状態	ステータス
以下の利用可能なアイテムから 1 つ選択してください。				
▼ 利用可能 7				
ネットワークを少なくとも 1 つ選択してください				
Q フィルターの指定またはフルテキスト検索を行うには、ここをクリックしてください。				
ネットワーク	割り当てサブネット	共有	管理状態	ステータス
> internal_network	internal_network_sub	いいえ	動作中	稼働中
> test	test	いいえ	動作中	稼働中
> front	front_sub	いいえ	動作中	稼働中

7.スナップショットから新インスタンス作成

⑩ネットワーク画面にて「割り当て済み」に該当のネットワークが表示されていることを確認する

インスタンスの起動

詳細

ソース

フレーバー

⑩ ネットワーク

ネットワークのポート

セキュリティグループ

キーペア

ネットワークはクラウド内のインスタンス用の通信経路を提供します。

▼ 割り当て済み ①

以下のリストからネットワークを選択してください。

ネットワーク	割り当てサブネット	共有	管理状態	ステータス
1 test	test	いいえ	動作中	稼働中

▼ 利用可能 ⑥

ネットワークを少なくとも 1 つ選択してください

Q フィルターの指定またはフルテキスト検索を行うには、ここをクリックしてください。

ネットワーク	割り当てサブネット	共有	管理状態	ステータス
--------	-----------	----	------	-------

⑪復旧対象インスタンスの固定IP利用有無を確認。

➤ 復旧対象のインスタンスが固定IP利用ありの場合

⑫の手順に進んでください

➤ 復旧対象のインスタンスが固定IP利用なしの場合 ※1

⑭の手順に進んでください

※1 ⑫と⑬の手順は実施不要

7.スナップショットから新インスタンス作成

⑫ネットワークのポート画面にて「5.新インスタンス用ポート作成」で作成したポートをクリックする

インスタンスの起動

詳細

ソース

フレーバー

ネットワーク

ネットワークのポート

セキュリティグループ

キーペア

設定

サーバーグループ

スケジューラーヒント

メタデータ

ポートは、インスタンスに追加の通信経路を提供します。ポートをネットワークの代わりに選択したり、ネットワークと併せて両方を選択したりすることができます。

▼ 割り当て済み

0 件表示

名前	IP	管理状態	ステータス
表示する項目がありません			

▼ 利用可能 6

Select one or more ports

Q フィルターの指定またはフルテキスト検索を行うには、ここをクリックしてください。

6 件表示

名前	IP	管理状態	ステータス
> test_port3	192.168.110.180 on subnet test	動作中	停止中
> testport3	192.168.110.50 on subnet test	動作中	停止中
> test_port2	192.168.110.120 on subnet test	動作中	停止中
> test_port	192.168.110.165 on subnet test	動作中	停止中
>		動作中	停止中
>		動作中	停止中

6 件表示

12



7.スナップショットから新インスタンス作成

- ⑬ ネットワークのポート画面にて[割り当て済み]に該当のポートが表示されていることを確認する ※1
- ⑭ 必要に応じてネットワークのポート画面以降の設定を実施する ※2
- ⑮ [インスタンスの起動]をクリックする

インスタンスの起動

ポートは、インスタンスに追加の通信経路を提供します。ポートをネットワークの代わりに選択したり、ネットワークと併せて両方を選択したりすることができます。

▼ 割り当て済み ⑬

以下のリストからポートを選択してください。

名前	IP	管理状態	ステータス
> test_port3	192.168.110.180 on subnet test	動作中	停止中

1 件表示

▼ 利用可能 ⑮

Select one or more ports

Q フィルターの指定またはフルテキスト検索を行うには、ここをクリックしてください。

5 件表示

名前	IP	管理状態	ステータス
> testport3	192.168.110.50 on subnet test	動作中	停止中
> test_port2	192.168.110.120 on subnet test	動作中	停止中
> test_port	192.168.110.165 on subnet test	動作中	停止中
>		動作中	停止中
>		動作中	停止中

5 件表示

✕ 取り消し

< 戻る 次へ >

🔴 インスタンスの起動

- ※1 セキュリティーグループをポートごとに設定する場合はセキュリティグループを指定しない。
- ※2 セキュリティーグループやキーペア、設定タブの設定はファーストステップガイドを参照。

Compute-D AP設計支援マニュアル_ネットワーク設計
「ポート単位でのセキュリティグループ設定にて陥りやすいミス」を参照

7.スナップショットから新インスタンス作成

- ⑩ 復旧対象のインスタンスのFIP利用有無を確認
 - 復旧対象のインスタンスがFIP利用ありの場合
「7.FIP割り当て」手順に進んでください
 - 復旧対象のインスタンスがFIP利用なしの場合
インスタンス復旧作業完了

8.FIP割り当て

FIPの割り当てを実施してください。

■ 作業詳細

(1)FIPの割り当てを下記で実施する ※1

①インスタンスの管理画面にて対象のインスタンスから[Floating IPの割り当て]をクリックし、割り当てるFIPを選択する

インスタンス

インスタンス名= フィルター インスタンスの起動 インスタンスの削除 その他のアクション▼

1件表示

☐	Instance Name	Image Name	IP Address	Flavor	Key Pair	Status	Availability Zone	Task	Power State	Age	Actions
☐	hukkyuu_test	CentOS7	front_network_02 192.168.110.215 test 192.168.110.215	standard1.tiny	-	稼働中	AZ1	なし	実行中	4 時間, 6 分	① Floating IP の割り当て インターフェースの接続 インターフェースの切り離し

1件表示

②インスタンス復旧作業完了

※1 FIPの管理画面からもFIPの割り当てを実施可能。[ファーストステップガイド](#)を参照。